

現状と主要課題

- ・適度に分散する都市圏と離島・半島、中山間地域が広く分布。豊かな自然環境を有するとともに自然災害が頻発、巨大地震発生も懸念
- ・災害、中山間地域等に対する安全・安心な生活に対する関心の高まり
- ・アジアのゲートウェイとして広域連携による産業展開を推進

九州ブロックの将来像

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」
～新しい風を西から～

(1)日本の成長センター
「ゲートウェイ九州」

(2)三層の重層的な圏域構成
からなる「元気な九州」

(3)巨大災害対策や環境調和を
発展の原動力とする
「美しく強い九州」

社会資本整備の重点目標とプロジェクト

【重点目標】

(1)アジア地域の成長力を引き込み、
日本の経済成長に貢献する
「ゲートウェイ九州」を形成する

(2)住民の生活を守り、
活力のある地方を維持していくための
地域社会づくりを進める

(3)増大する様々な災害リスクに対して、
柔軟に対応できる強靱な
圏域を形成する

(4)社会資本の戦略的な
維持管理・更新を行う

【プロジェクト】

アジアをはじめとした世界諸国と九州内相互における
人流・物流・情報交流の増進

産業経済活動・地域間交流を支える広域交流ネット
ワークの形成

離島・半島、中山間地域等における生活圏との交通
アクセスの確保、小さな拠点の形成

都市部におけるコンパクト化と周辺等とのネットワーク
形成、都市機能の充実・強化

九州の美しい自然環境や景観等に配慮した自然環境
の保全・再生

環境問題に対応した循環型社会の構築

災害の未然防止や被害の最小化による災害リスクの
軽減

防災・危機管理体制や水資源の確保等における
広域的な連携による安全な暮らしの実現

安全な移動環境の形成

社会資本の戦略的な維持管理・更新と多目的な活用

多様な主体による個性を活かした地域づくり

重点目標1 アジア地域の成長力を引き込み、日本の経済成長に貢献する「ゲートウェイ九州」を形成する

・プロジェクト1-1 アジアをはじめとした世界諸国と九州内相互における人流・物流・情報交流の増進 ・プロジェクト1-2 産業経済活動・地域間交流を支える広域交流ネットワークの形成

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

■ゲートウェイ機能の強化

【クルーズ船の寄港増や大型化に対応するための既存岸壁の有効活用

(福岡県福岡市、長崎県長崎市、熊本県八代市)(H27年度工事中)】

【KPIや主要な指標】

[KPI-1]

特定都市再生緊急整備地域における国際競争力強化に資する都市開発事業の事業完了数 【H26年度 0→ H32年度 4】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

■拠点アクセス機能の強化

【都城志布志道路 梅北工区(宮崎県都城市) (H27年度工事中)[H29年度完成]】

【都城志布志道路 有明道路(鹿児島県志布志市) (H27年度工事中)[H29年度完成]】

【都城志布志道路 都城道路(南横市IC~平塚IC)(宮崎県都城市) (H27年度工事中)[H30年度完成]】

<平成32年度までに事業が完成予定>

■ゲートウェイ機能の強化

【志布志港 新若浜地区国際物流ターミナル整備事業(鹿児島県志布志市) (H27年度工事中)[H31年度完成]】

【博多港 アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル整備事業(福岡県福岡市)(H27年度工事中)[H32年度完成]】

<平成30年代完成予定>

■ゲートウェイ機能の強化

【福岡空港整備事業(滑走路増設)(福岡県福岡市) (H27年度測量設計中)[H36年度完成]】

主要取組の事例・期待されるストック効果

クルーズ船の寄港増や大型化に対応するための既存岸壁の有効活用(福岡県福岡市)

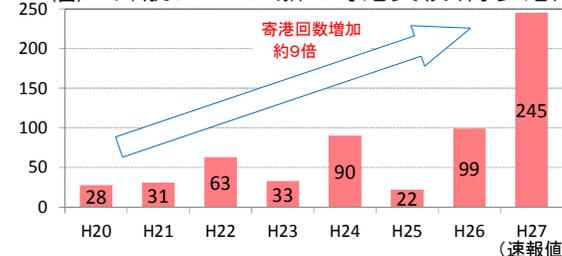
▼クルーズ客船の着岸風景(博多港)



- ・既存岸壁を有効活用し、**港湾のゲートウェイ機能を強化**する

- ・より多くのクルーズ客を受け入れることによる**地域の活性化が期待**される

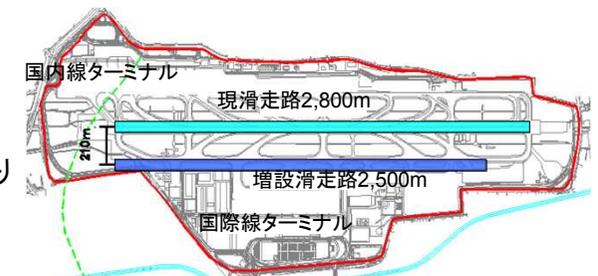
▼外航クルーズ船の寄港実績(博多港)



福岡空港整備事業(滑走路増設)(福岡県福岡市)

▼福岡空港における滑走路の増設

- ・慢性的に発生している**ピーク時の航空機混雑を抜本的に解消**
- ・将来の航空需要に適切に対応するとともに、将来にわたる**国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮**



重点目標2 住民の生活を守り、活力のある地方を維持していくための地域社会づくりを進める

- ・プロジェクト2-1 離島・半島、中山間地域等における生活圏との交通アクセスの確保、小さな拠点の形成
- ・プロジェクト2-3 九州の美しい自然環境や景観等に配慮した自然環境の保全・再生

- ・プロジェクト2-2 都市部におけるコンパクト化と周辺等とのネットワーク形成、都市機能の充実・強化
- ・プロジェクト2-4 環境問題に対応した循環型社会の構築

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

■地域活性化支援

【山之口スマートIC整備(宮崎県都城市) (H27年度工事中)[H28年度完成]】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

■交通アクセスの確保

【南薩縦貫道 知覧道路(鹿児島県南九州市) (H27年度工事中)[H28年度完成]】

【厳原港 厳原地区離島ターミナル整備事業(長崎県対馬市) (H27年度工事中)[H30年度完成]】

<平成32年度までに事業が完成予定>

■交通アクセスの確保

【名瀬港 離島ターミナル整備事業(鹿児島県奄美市) (H27年度測量設計中)[H31年度完成]】

<平成30年代完成予定>

■温室効果ガスの削減

【大分港 西大分地区複合一貫輸送ターミナル改良事業(大分県大分市) (H27年度工事中)[H33年度完成]】

<完成時期未定>

■交通アクセスの確保

【西彼杵道路 時津工区(長崎県時津町) (H27年度工事中)】

【大隅縦貫道(I期) 吾平道路(鹿児島県鹿屋市) (H27年度測量設計中)】

主要取組の事例

山之口スマートIC整備(宮崎県都城市)

九州を支える基幹産業が集積している地域にスマートICを整備することにより、企業進出が加速し、新たな雇用創出につながる。

▼山之口SAスマートICの完成イメージ



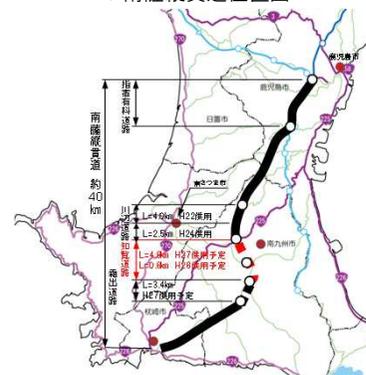
▼山之口SAスマートICの整備による効果



南薩縦貫道 知覧道路(鹿児島県南九州市)

南薩地域と鹿児島市間の交通アクセス確保により、地域住民の生活圏の拡大や地域間の交流・連携が盛んになる。

▼南薩縦貫道位置図



▼南薩縦貫道 知覧道路の整備ルートイメージ



プロジェクト3-1 災害の未然防止や被害の最小化による災害リスクの軽減

重点目標3 増大する様々な災害リスクに対して、柔軟に対応できる強靱な圏域を形成する

・プロジェクト3-1 災害の未然防止や被害の最小化による災害リスクの軽減 ・プロジェクト3-2 防災・危機管理体制や水資源の確保等における広域的な連携による安全な暮らしの実現

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

■水害・土砂対策

【鶴田ダム再開発事業(鹿児島県さつま町) (H27年度工事中)[H29年度完成]】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

■大規模地震・津波対策

【福富直轄海岸保全施設整備事業(佐賀県白石町) (H27年度工事中)[H29年度完成]】

■水害・土砂対策

【白川水系河川激甚災害対策特別緊急事業(熊本県熊本市、阿蘇市) (H27年度工事中)[H29年度完成]】

<平成32年度までに事業が完成予定>

■大規模地震・津波対策

【細島港 外港地区防波堤整備事業(宮崎県日向市) (H27年度工事中)[H32年度完成]】

<平成30年代完成予定>

■水害・土砂対策

【下関港海岸直轄海岸保全施設整備事業(山口県下関市) (H27年度工事中)[H34年度完成]】

【既存施設の集約・再編】

■大規模地震・津波対策

【唐津港湾合同庁舎(複数の既存施設を、地震防災機能を発揮する合同庁舎に集約)(佐賀県唐津市)(H27年度測量設計中)】

【KPIや主要な指標】

[KPI-11]

国際拠点港湾・重要港湾における港湾の事業継続計画(港湾BCP)が策定されている港湾の割合

【H26年度 29% → H28年度 100%】

主要取組の事例

鶴田ダム再開発事業(鹿児島県さつま町)

▼再開発により治水容量を増強



平成18年7月豪雨により甚大な被害を受けた川内川流域では、同規模の洪水が発生した場合でも、洪水による被害を軽減するため、既存の鶴田ダムにおいて、洪水調節容量の増量により、治水機能の向上を図る。

白川水系河川激甚災害対策特別緊急事業

(熊本県熊本市、阿蘇市)

▼H24. 7九州北部豪雨対応



白川水系河川激甚災害対策特別緊急事業では、白川(明午橋～みらい大橋間)の河道掘削、築堤・護岸、樋管、橋梁架替等を平成24年度から概ね5カ年で緊急的に実施。

福富直轄海岸保全施設整備事業

(佐賀県白石町)

▼海岸堤防の補強対策



干拓事業で造成され老朽化した海岸保全施設を高潮、波浪、地震等の自然災害から背後地の農地や宅地等を防護するため補強・改修を実施。